

【主題名】誠実に生きる 内容項目 「A-(2) 正直, 誠実」

【教材名】豆電球 (令和元年度長期研修員自作資料)

<あらすじ>教室で、理科の実験で使う豆電球がなくなる。誰がいたずらをしたのか名乗り出るまで帰ることができなかつたため、主人公が「私がやりました」と、うその報告をしてしまふ。そのうそに気付いた担任に、やさしく諭され、主人公は涙が止まらなかつた。

【ねらい】

☑ 内容項目の理解

正直, 誠実の中で, 誠実という道徳的価値について指導する。

☑ 児童生徒の実態把握

自己の過ちや失敗を受け止め, 改めていくことの大切さは理解しているが, 不利な立場に立たされることを回避しようとうそを言ったり, ごまかしたりする。

☑ 本時のねらいを設定する

判断力 心情 実践意欲 態度

自己の過ちに気づき, 改めていく素直さとともに, 誠実な生き方をしていこうとする道徳的態度を育てる。

【学習指導過程】

段階	学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>誠実な行動をするためには, どのような考えが必要なのだろう。</p> <p>○ 「誠実」とはどのような意味ですか。</p>	
展開	<p>2 教材の前半を読み, ゆうこの行動について考える。</p> <p>○ ゆうこは, どのようなうそをつきましたか。</p> <p>○ あなたは, うそをついたゆうこをどのように思いますか。</p> <p>◎ 教室を離れたゆうこが, 先生の所へ戻ったのは, どのような心の変化があったからなのでしょう。</p> <p>3 資料の後半を読み, 誠実な行動について考える。</p> <p>○ ゆうこの涙には, どのような気持ちが込められていたのでしょうか。</p>	<p>教材の活用</p> <p>自分との関わり</p> <p>多面的・多角的</p>
終末	<p>4 自己の生き方についての考えを深める。</p> <p>○ 授業を通して分かったこと, いいなと感じたこと, これからの自分に生かしていきたいことを書きましよう。</p>	<p>展開の工夫</p> <p>終末の工夫</p>

【板書計画】

自分に正直に生きる  
失敗した後が大事  
相手に対して心から思いを伝える

絵場面② ← 涙

ゆうこのうそ

- ・悪いことをしてしまった。
- ・先生に本当のことを言おう。
- ・このままでは, みんなをだましてしまふことになる。

自分の心  
もやもやする後悔

クラス  
残念どうして…  
一緒に遊びたくない

先生  
ショック 悲しい 信用していたのに

やさしいうそ  
悪いこと・うそつき

絵場面①

わたしがやりました  
早く帰りたいよー  
たかしをかばうため

第○回道徳

誠実な行動をするためには, どのような考えが必要なのだろう。

【評価】

誠実に生きることの大切さについて, 自分との関わりで考える学習を通して, 多面的・多角的に考えようとしていたか。